

会報 平成おやじの会

おやじ一日講師



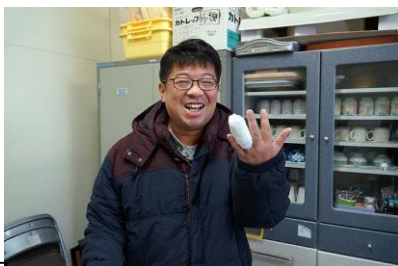
おやじの生き様を伝えました

平成29年度 おやじ1日講師 テーマ一覧

	クラス	講師	テーマ
1校時	9組	太田 真	The リサイクル・クイズ
	1年1組	田中 則和	仕事を楽しむ!
	1年2組	菊入 崇	菌の進化
	1年3組	田中 聡	自分の半生「人って変わるんだなあ」
	1年4組	田中 雅博	日本の財政を考える
	1年5組	並川 敏万	「みんなと農家をつなげます」意外と身近な農業のはなし
	1年6組	今井 晋	山岳ガイドという仕事とノルウェー・フィヨルドスキーのスライド
2校時	1年7組	小栗 善昭	45歳と13歳が考えていること
	2年1組	島田 亮	「人生観」チームワークの大事さ
	2年2組	塚本 直哉	おやじのトーク show!! 建築士の仕事って何だろう!?
	2年3組	平賀 則勇	受験勉強は仕事に役立つのか?
	2年4組	種田 英朗	新聞は希望の轍(わだち)
	2年5組	池田 陽介	ものを見るしくみと視力のはなし
3校時	2年6組	相馬 満	科学技術入門編(意外に身近な科学技術)
	3年1組	菊川 義信	冬場の水分補給と朝ごはんの話
	3年2組	木下 浩司	自分の意見を言いましょ
	3年3組	脇 孝拓	モータースポーツについて
	3年4組	武田 勝	夢とキャリアの話
	3年5組	三嶋 博之	専門と専門のスキマのヒトの病気のゲノム研究のスキマ
	3年6組	鶴飼 渉	あなたの自己肯定感を高める!メタ認知って何だ?
	3年7組	山田 幸徳	気持ちを見てみよう=プレイバックシアター=



授業前の一コマ



会長も怪我をおして応援に



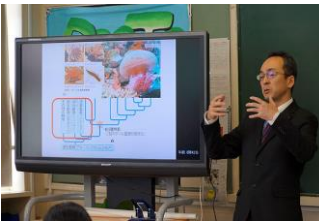
教室を飛び出して。。。



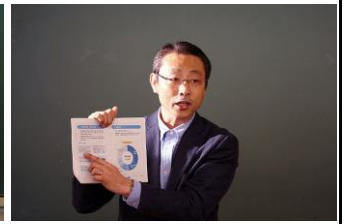
9 組



1 年 1 組



1 年 2 組



1 年 4 組



1 年 5 組



1 年 6 組



1 年 7 組



2 年 1 組



2 年 2 組



2 年 3 組



2 年 4 組



2 年 5 組→次ページ



2 年 6 組



3 年 1 組



3 年 2 組



3 年 3 組



3 年 4 組



3 年 5 組



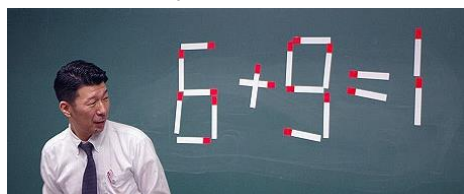
3 年 6 組



3 年 7 組



サメの歯は毎週生え変わるから虫歯の心配ありません
(とは言っていない)



2 本動かして正しい式にする。制限時間 3 分!



1 年 3 組

S 田中さん、今年も全体仕切りありがとうございました

■編集後記:

今年は新人や外部講師含め新たな講師が 6 名も参加してくれました。バラエティ豊かな経歴の方々の授業は、本当であれば 1 時間じっくり聞いていたいものばかりです。また、僕らは年 1 回のイベントを自由に楽しくやらせて頂いておりますが、毎日授業をなさっている先生方には本当に頭が下がります。実は先生方こそ、たまには自由なテーマで授業やってみたいのではないかともしつたり。。。次頁に渾身の寄稿有り(ピ)

教師になるのが夢でした

池田 陽介

視能訓練士
担当教室 2年5組

11月では珍しく、前日から大雪が降り続いていました。コートに積もった雪をはらい、投票以外に縁のなかった校内へと足を進めました。講師控え室に入ると、先輩おやじの皆様があたたかく迎えてくださいました。私の担当は2年生の2校時目です。ほどなくして、1校時目の終了のチャイムがなり、授業の準備のため教室へ向かいました。

教室に入り、早速、長女と目が合います。笑みはありません。正直、嫌がっている様子が見て取れます。でも、そんなことはおかまいなしです。こういう教室で、こういう仲間たちと日々を過ごしているのかあ、という感動に支配されています。それが、おやじ心というものです。

授業がはじまります。開始時の生徒のあいさつが、驚くほどしっかりしています。礼儀正しいのです。こちらも背筋が一段と伸びます。授業は、スライドを上映しながら進めていきました。

まずは、私の0歳時の写真。赤ちゃんなのに男前です、と言ったところで皆さん笑ってくれます。2割くらいは愛想笑いだったかもしれません。中学生ともなると、きちんと空気が読めるのです。それに続き、小学4年時「この頃の夢は、教師になることでした。」、中学2年時「この頃は部活動（ソフトテニス）に熱中していました。」、高校3年時「医療職の道を目指しました」。そして現在「私は視能訓練士という仕事をしています。」というように、まずは私の素性を明かすところからはじめました。

ものの見えるしくみ、眼球ではなく、脳で感じているんです。外部情報の取り込み、83%は視覚から視力検査で使う視標、ランドルト環といいます。切れ目の幅は国際的に決められています、と、専門的な話は少々難解のようでした。もう少し、身近な話題を取り入れたり、実験的に見る不思議を体験してもらおうなどの工夫をする必要があります。



まとめの話。「仕事は、ひとの役にたつから仕事として成り立っている。仕事とは人をたすけること。仕事をするためには、学ばなければならない。学ぶことは、人たすけにつながる。みなさんが今、学校で学んでいることは人たすけの準備。テストの問題を解くために勉強しているのではない。とても尊い時間を過ごしているんです。

それから、大事なことは親孝行。お父さん、お母さんは親。学校の先生方や部活動の先輩方も、育ての親。親には恩返しをするのが礼儀。直接的に返すことも結構だけでも、育ててもらった恩は、下の者を育てることで返すという考え方もある。皆さんが先輩の立場になったとき、あるいは親になったとき、大切に育ててあげてください。」今回、一日講師に志願した理由は、自分を育ててくれた親や教師への恩返しに他なりません。

果てしなく広がる可能性を秘めた生徒たちを前にして、拙い話ではありましたが、子どもの頃の夢であった教師の真似事をさせていただきました。貴重な機会をお与えいただきました関係者の皆様に深謝するとともに、最後まで聴いてくださった2年5組のみなさんに心より御礼を申し上げます。ありがとうございました。みなさんの益々のご活躍を願っています。